

## 第8章 文化財保護

第1節 文化財の指定と調査・保護

第2節 東北歴史博物館

第3節 宮城県多賀城跡調査研究所

# 第1節 文化財の指定と調査・保護

## 1 指定文化財

県内の国及び県指定の文化財は、次のとおりである。

第8-1表 平成19年度末文化財指定件数

区分	国	県	登録文化財	区分	国	県	登録文化財
建造物	19	37	70	無形民俗文化財	7	42	
彫刻	8	26		有形民俗文化財	0	4	
絵画・書跡典籍	7	34		史跡	34	15	
工芸品	11	22		名勝	4	2	
古文書・考古資料	9	6		史跡及び名勝	1	0	
歴史資料	2	11	1	天然記念物	27	29	
無形文化財	1	3		計	130	231	71

## 2 文化財の調査・保護

### (1) 埋蔵文化財の保護及び発掘調査等

#### ア 保護体制の整備

文化財保護体制の基礎は市町村にあるとの認識のもとに、市町村の体制の充実を図るため、次のような事業を実施した。

市町村文化財担当者会議・研修会

平成19年5月24日

場所 東北歴史博物館

参加者 36市町村文化財担当者

#### イ 文化財保護管理指導事業

文化財保護地区指導員を県下市町村に各1人(仙台市：3人、大崎市：7人、加美町：3人、栗原市：10人、登米市：9人、気仙沼市2人、石巻市7人、南三陸町2人)委嘱し、国指定の重要文化財(建造物)、史跡、名勝、天然記念物及び主なる埋蔵文化財包蔵地についてパトロールを実施し、関連して以下の研修会を開催した。この事業は昭和49年度から国庫補助事業として実施しているものである。

##### (ア) 宮城県文化財保護地区指導員会議

平成19年5月24日

場所 東北歴史博物館

参加者 36市町村文化財担当者・71文化財保護地区指導員

##### (イ) 市町村文化財担当者及び文化財保護地区指導員研修講座

月日 平成19年10月25日

会場 東北歴史博物館

研修内容

「世界遺産について」

講師 主事 伊藤 隆

東北歴史博物館展示見学

参加者 市町村教育委員会文化財担当者39名・文化財保護地区指導員・文化財保護委員87名

#### ウ 基礎資料の整備

埋蔵文化財関係の基礎資料を整備し、その活用を図るため、遺跡台帳の整備充実に努めた。

#### エ 発掘調査

##### (ア) H19年度：埋蔵文化財発掘届等の件数

(第8-2表参照)

調査のための発掘届(法92条第1項)	4件
土木工事に伴う届(法93条第1項)	763件
土木工事に伴う通知(法94条第1項)	240件
遺跡発見の届(法96条第1項)	0件
遺跡発見の通知(法97条第1項)	10件

教育委員会の発掘調査(法99条第1項)

283件

合計 1,300件

(イ) 国庫補助事業による詳細分布調査(県教委が主体もしくは担当した調査)(第8-3表参照)

(ウ) 受託事業による調査(第8-3表参照)

(エ) 執行委任事業による調査(第8-3表参照)

(オ) その他の調査(第8-3表参照)

第8-2表 埋蔵文化財発掘届等件数

No.	市町村名	92	93	94	96	97	99	計
1	仙台市	2	308	50		1	108	764
大河原教育事務所								
2	白石市		24	4		1	14	43
3	角田市		1	2			4	7
4	七ヶ宿町							0
5	蔵王町		6				7	13
6	大河原町		3					3
7	村田町		1					1
8	柴田町		4					4
9	川崎町		1					1
10	丸森町		1	1			2	4
	計		41	7	0	1	27	76
仙台教育事務所								
11	塩竈市		2	6				8
12	名取市		61	4			10	75
13	亘理町		5	1		1	4	11
14	山元町		3	1		1	1	6
15	岩沼市	1	11	4		1	5	22
16	松島町		15	2				17
17	多賀城市		121	15			26	162
18	七ヶ浜町		2	1			1	4
19	利府町		10	6			4	20
20	大和町		16	5			5	26
21	大郷町		2					2
22	富谷町		3	1			1	5
23	大衡村		1	1			2	4
	計	1	252	47		3	57	360
大崎教育事務所								
24	大崎市		36	25			17	78
25	加美町		10	23			24	57
26	色麻町						1	1
27	涌谷町			1		1		2
28	美里町		14	5			3	22
	計	0	60	54	0	1	45	160
栗原教育事務所								
29	栗原市	1	65	37		2	26	131
	計	1	65	37		2	26	131
登米教育事務所								
30	登米市		5	27		1	3	36
	計		5	27		1	3	36
石巻教育事務所								
31	石巻市		11	13		1	4	29
32	東松島市		11	3			6	20
33	女川町		2					2
	計		24	16		1	10	51
南三陸教育事務所								
34	気仙沼市		8	2			7	17
35	南三陸町							0
36	本吉町							0
	計		8	2			7	17
	合計	4	763	240	0	10	283	1,300

第8 - 3表

発掘調査遺跡一覧

No.	事業名	事業主体	遺跡名	所在地	調査種別	発掘面積 m <sup>2</sup>	調査期間	主な発見遺構など
受託契約による調査								
1	三陸縦貫自動車道建設	国土交通省東北地方整備局	小山遺跡	登米市	発掘調査	2,950	4月23日～25日 7月9日	調査担当遺構なし。土師器。
2	国道4号築館バイパス建設	国土交通省東北地方整備局	下萩沢遺跡	栗原市	発掘調査	4,396	6月4日～7月3日	奈良時代竪穴住居跡1軒、縄文時代のTピット調査担当1基、時期不明の掘立柱建物跡1棟・溝など。土師器。
執行委任による調査								
1	県道大衡落合線建設工事	仙台東土木事務所	平林遺跡	大衡村	発掘調査	2,000	5月7日～6月18日	調査担当 平安時代の竪穴住居跡1軒、中近世の掘立柱建物跡6棟以上、溝跡7条、井戸跡6基、土壌7基、ピット多数、土師器、須恵器、鉄製品、在地産中世陶磁器、中国産磁器など。
2	県営ほ場整備事業田尻西部地区	大崎地方振興事務所	北小松遺跡・愛宕山遺跡・諏訪遺跡・宮沼遺跡	大崎市	発掘調査 確認調査	7,961	5月21日～11月2日	調査担当 縄文時代晩期の竪穴状遺構1基、土壌5基、焼面5カ所、縄文土器、石器、土製品、石製品、獣骨、種子など。
3	広域営農団地農道整備事業仙南2期地区	大河原地方振興事務所	鍛冶沢遺跡	蔵王町	発掘調査	1,200	7月2日～12月5日	調査担当 縄文時代後期～晩期の掘立柱建物跡28棟以上、竪穴式住居跡4軒、再葬墓1基、土器埋設遺構14基、土壌多数。縄文土器（早期、後期～晩期）、弥生土器、石器、土製品骨角器など多数。
4	広域営農団地農道整備事業仙南2期地区	大河原地方振興事務所	欠山遺跡	蔵王町	確認調査	385	11月5日～9日	調査担当遺構なし。縄文土器、石器。
5	広域営農団地農道整備事業仙南2期地区	大河原地方振興事務所	淡島山遺跡	蔵王町	確認調査	170	11月12日～19日	調査担当時期不明の土壌5基、溝1条。縄文土器。
6	県道泉塩電線改良工事	仙台東土木事務所	市川橋遺跡	多賀城市	発掘調査 確認調査	1,145	8月20日～11月9日 12月18・19日 1月15日～2月14日	調査担当 弥生時代の遺物集中地点、溝跡4条、古墳時代の竪穴住居跡11軒、平窯1基、河川跡、遺物廃棄土壌、古代の道路跡、材木塚跡2条、掘立柱建物跡15棟以上、井戸跡2基、土壌、溝跡、平安時代の区画溝跡、井戸跡2基、合わせ口襦袢2基、河川にかかる杭跡、河川跡など。土師器、須恵器、須恵系土器、瓦、木製品、人頭骨、馬骨など。
国庫補助による調査								
1	重要遺跡確認調査	宮城県教育委員会	壇の越遺跡	加美町	確認調査	334	10月29日～12月10日	調査担当 奈良～平安時代の堀跡、大溝跡、区画溝跡など。土師器、須恵器、木製品、漆製品、金属製品、石製品、動物・植物遺体など。
その他の調査（市町村協力及び調査担当）								
1	共同住宅建設	個人	三十三間堂官衙遺跡	巨理町	発掘調査	430	5月23日～6月4日	調査協力 古代の土壌2基、近世の堀跡1条、時期不明の掘立柱建物跡2棟、溝跡、土壌、畝状遺構など。土師器、須恵器、近世陶器など。
2	個人住宅	個人	瑞巖寺境内遺跡	松島町	確認調査	9	4月24日	調査担当遺構・遺物の発見なし。
3	地域防災対策総合治山事業	石巻地方振興事務所	矢本横穴墓群	東松島市	発掘調査	500	5月7日～7月5日	調査協力 古墳時代～平安時代の横穴墓17基。線刻壁画。土師器、須恵器、金属器、人骨など。
4	県道改良工事	大崎土木事務所	上黒沢中館跡・北館跡	色麻町	確認調査	320	5月10日・11日	調査協力 近世以降のピット。須恵器、陶磁器、鉄製品。
5	県営ほ場整備事業	大崎地方振興事務所	壇の越遺跡	加美町	発掘調査 確認調査	11,298	5月14日～11月29日	調査協力 奈良時代～平安時代の道路跡。堀跡、建物跡、竪穴住居跡など。道路交差点での祭祀跡。土師器、須恵器。
6	掘跡しゅんせつ工事	個人	石森館跡	登米市	確認調査	2	6月15日	調査協力遺構・遺物の発見なし。
7	都市計画道路新設工事	美里町	化粧坂遺跡	美里町	発掘調査	830	7月10日～9月14日	調査協力 古代の竪穴住居跡4軒、溝跡、土壌、ピットなど、土師器、須恵器。
8	墓地造成	個人	塩釜古館跡	塩竈市	確認調査	51	7月10日	調査担当遺構・遺物の発見なし。
9	県道改良工事	大崎土木事務所	地蔵車遺跡	加美町	発掘調査	965	7月23日～9月14日	調査協力 古墳時代の水田跡、畑跡、水路跡、平安時代の竪穴住居跡4軒、井戸跡1基、焼土遺構、溝跡など。
10	町道改良工事	富谷町	奈良木沢遺跡	富谷町	確認調査	8	7月24日	調査担当遺構・遺物の発見なし。
11	都市計画道路新設工事	巨理町	先達前遺跡	巨理町	確認調査	60	7月30日	調査協力遺構の発見なし。土師器、須恵器。
12	墓地造成	個人	花楸城跡	大郷町	確認調査	18	8月28日	調査担当遺構なし。須恵器。
13	工場増設工事	日東電工株式会社	宮城平遺跡	大崎市	確認調査	1,050	9月3日～14日	調査担当 縄文時代の陥し穴1基、土壌1基。縄文土器、石器。
14	個人住宅	個人	五輪遺跡	大河原町	確認調査	3	9月6日	調査担当遺構・遺物の発見なし。
15	学術調査	巨理町	史跡三十三間堂官衙遺跡	巨理町	確認調査	700	9月18日～10月29日	調査協力 古代巨理郡衙都府院東側の調査。
16	瑞巖寺本堂保存修理事業	瑞巖寺	瑞巖寺境内遺跡	松島町	確認調査	24	9月19日～10月3日	調査担当 中世の切石積遺構、暗渠遺構、切石列、整地層調査担当2層、近世の溝跡。古代の土師器、製塩土器、中世陶器、瓦など。
17	携帯電話無線基地局	KDDIエンジニアリングセンター	金谷遺跡	大衡村	確認調査	40	9月27日	調査担当遺構の発見なし。縄文土器。

18	宮城病院病棟新築工事	独立行政法人国立病院機構宮城病院	合戦原遺跡	山元町	確認調査	489	10月2日	調査協力遺構・遺物の発見なし。
19	町道改良工事	大河原土木事務所	和尚堂遺跡	白石市	確認調査	2,310	10月9日～11月5日	弥生時代の土壌墓2基、弥生時代・古墳時代の調査担当遺物包含層、弥生土器、土師器、須恵器、管玉、石包丁など。
20	社員寮新築工事	東北電力株式会社	十二神遺跡	女川町	確認調査	164	10月15日	調査担当遺構・遺物の発見なし。
21	墓地造成	個人	小森遺跡	松島町	確認調査	220	11月19日～26日	調査担当古代の竪穴住居跡4軒、掘立柱建物跡3棟、土壌、溝跡、ビットなど。土師器、須恵器。
22	長沼夕ム建設に伴う市道改良工事	登米土木事務所	滝塚	登米市	確認調査	233	11月20日	調査協力古代の竪穴住居跡2軒、塚1基。土師器、須恵器。
23	市道改良工事	栗原市	清水遺跡	栗原市	確認調査	355	11月21日～22日	調査協力土壌、溝跡、ビットなど。遺物なし。
24	県道改良工事	大崎土木事務所	化粧坂遺跡	美里町	確認調査	50	11月28日	調査協力遺構・遺物の発見なし。
25	県道改良工事	気仙沼土木事務所	浦島貝塚	気仙沼市	確認調査	32	12月19日	調査協力遺構なし。縄文土器、石器。
26	宅地造成工事	個人	平館跡	大河原町	確認調査	30	1月8日	調査担当中世以降のビット。遺物なし。
27	個人住宅	個人	新畑中遺跡	柴田町	確認調査	24	1月17日	調査担当遺構・遺物の発見なし。
28	工業団地造成	宮城県土地開発公社	奥田金沢遺跡	大衡村	確認調査	2,300	1月21日～31日	調査担当縄文時代の竪穴住居跡2軒、時期不明の土壌7基など。縄文土器、石器、土師器、鉄滓など。
29	個人住宅	個人	新畑中遺跡	柴田町	確認調査	10	1月25日	調査担当遺構なし。土師器。
30	個人住宅	個人	西の浜貝塚	松島町	確認調査	10	3月14日	調査担当遺構なし。遺物なし。

#### オ 報告書の刊行

刊行年月日	報告書名
2007 (平成19年12月)	宮城県文化財調査報告書第214集「山居遺跡(縄文時代編)ほか」
2008 (平成20年3月)	宮城県文化財調査報告書第215集「平林窯跡」
2008 (平成20年3月)	宮城県文化財調査報告書第216集「北小松遺跡ほか・平成19年度発掘調査概報」
2008 (平成20年3月)	宮城県文化財調査報告書第217集「壇の越遺跡ほか」

#### (2) 文化財の保護

ア 史跡名勝天然記念物に対する現状変更件数については、次表のとおりである。(第8-4表参照)

#### イ 銃砲刀剣類の審査と登録

登録審査会を6回開催し、美術的価値のある銃砲刀剣類の登録を行った。(第8-5表参照)

#### ウ 文化財の公開

文化財の公開は文化財の活用の中で重要な事業として関係機関の協力を得て行った。(第8-6表参照)

#### エ 第49回北海道・東北ブロック民俗芸能大会

平成19年10月21日(日)に江別市民会館を会場に北海道教育委員会主催のもと開催され、本県からは栗原市の「鶯沢八ツ鹿踊り保存会」が出演した。

第8-4表 史跡・名勝等の現状変更件数

種別	名称	年度					
		14	15	16	17	18	19
特別名勝	松島	137	131	118	88	88	139
特別史跡	多賀城跡附寺跡	12	10	9	9	10	18
その他		24	21	35	42	18	38
計		173	162	162	139	116	195

第8-5表 銃砲刀剣類の登録件数

種類	た	ち	刀	わ	き	ざ	し	短	刀	剣	や	り	な	ぎ	な	た	その他	火	な	わ	式	銃	砲	管	打	式	銃	砲	ピン	打	式	銃	砲	計
件数	11	70	97	45	1	10	5	2	5	1	0	247																						

第8-6表 文化財の公開

展示会の名称	公開期間	公開会場
特別展 「町絵図・村絵図の世界」	4月21日～5月27日	東北歴史博物館
特別展 「慈覚大師円仁とその名宝」	6月16日～7月29日	東北歴史博物館
特別展 「奥州一宮鹽竈神社・しおがまさまの歴史と文化財」	8月9日～9月24日	東北歴史博物館
特別展 「ちよつと昔のくらし」	10月13日～12月2日	東北歴史博物館
常設展 「民俗・民芸資料」「コレクション」「美術工芸・歴史資料」	通年	東北歴史博物館

### 3 文化財保護事業に対する助成等

#### (1) 国庫補助事業

本年度国庫補助事業として実施したものは次のとおりである。

第8 - 7表

平成19年度国庫補助事業

(単位：千円)

事業名	事業者	総事業費	内 訳			
			国庫補助金	県補助金	市町村費	所有者負担金
旧佐藤家住宅防災施設修理	角田市	2,940	1,470	-	1,470	-
山王園遺跡保存修理	栗原市	22,527	11,250	3,375	7,902	-
里浜貝塚保存修理	東松島市	29,469	14,000	4,200	11,269	-
松島四大観音堂保存修理	大仰寺	49,066	24,533	9,813	-	14,720
仙台北城跡保存修理	仙台市	8,000	4,000	-	4,000	-
市内遺跡発掘調査等	大崎市	7,001	3,500	1,050	2,451	-
市内遺跡発掘調査等	仙台市	41,768	20,701	-	21,067	-
町内遺跡発掘調査等	加美町	2,500	1,250	375	875	-
市内遺跡発掘調査等	栗原市	3,002	1,500	450	1,052	-
市内遺跡発掘調査等	角田市	2,001	1,000	300	701	-
市内遺跡発掘調査等	多賀城市	18,001	9,000	1,800	7,201	-
市内遺跡発掘調査等	東松島市	7,074	3,500	1,050	2,524	-
町内遺跡発掘調査等	亘理町	4,800	2,400	720	1,680	-
市内遺跡埋蔵文化財保存活用整備	多賀城市	9,001	4,500	450	4,051	-
里浜貝塚埋蔵文化財保存活用整備	東松島市	21,374	10,500	750	10,124	-
多賀城跡附寺跡指定文化財管理	多賀城市	208	166	-	42	-
第54回日本伝統工芸展仙台展	日本伝統工芸展仙台展実行委員会	3,080	1,496	-	-	1,584
選定保存技術(石盤葺)伝承	佐々木信平	1,181	1,106	-	-	75
仙台北城下町に所在する民俗文化財調査	仙台市	3,999	1,999	-	2,000	-
多賀城跡附寺跡買上げ(直接買上げ)	多賀城市	250,000	200,000	8,000	42,000	-
里浜貝塚買上げ(直接買上げ)	東松島市	9,246	7,396	554	1,296	-
伊治城跡買上げ(直接買上げ)	栗原市	32,000	25,600	-	6,400	-
陸奥国分寺跡買上げ(直接買上げ)	仙台市	229,766	183,812	-	45,954	-
仙台郡山官衙遺跡群買上げ(直接買上げ)	仙台市	343,839	192,504	-	151,335	-
陸奥国分寺跡買上げ(先行取得償還)	仙台市	769,795	615,831	-	153,964	-
多賀城跡附寺跡保存修理	宮城県	9,462	4,731	4,731	-	-
カモシカ食害対策	宮城県	2,000	1,333	667	-	-
県内遺跡発掘調査等	宮城県	21,700	10,844	10,856	-	-
指定文化財管理	宮城県	4,608	2,304	2,304	-	-
計		1,909,408	1,362,226	51,445	479,358	16,379

#### (2) 史跡の環境整備事業

公有化した史跡が社会教育・学校教育などに有効に活用され、愛護されるためには、史跡の特性を十分に生かして復元するという適切な環境整備がなされなければならない。このことによってはじめて史跡の意義が理解され、広く県民に活用されるものである。平成19年度は、特別史跡多賀城跡附寺跡等の環境整備を行った。

#### (3) 史跡の公有化

県内には貴重な遺跡が多数存在している。中でも特に重要な遺跡については、史跡として国指定を図り公有化を推進している。平成19年度は、前年度に引き続き特別史跡多賀城跡附寺跡(多賀城市)及び史跡陸奥国分寺跡(仙台市)の公有化を実施した。

なお、公有化後は環境整備を行い史跡公園として一般に開放する。

#### (4) 特別天然記念物カモシカ保護対策事業

南奥羽山系カモシカ保護地域におけるカモシカの生息動向・生息環境・食害発生状況などのカモシカ保護対策に関する調査を実施した。

#### (5) 県費補助事業

本年度県費補助事業として実施したものは、次のとおりである。

第8 - 8表

## 平成19年度県費補助事業

(単位：千円)

区分	事業名	事業主体	事業費総額	内 訳			
				県費補助金	市町村補助金	所有者負担	
有形文化財	県指定	陽徳院霊屋保存修理	瑞巖寺	50,000	10,000	-	40,000
無形文化財	県指定	正藍染伝承者養成	千葉 よしの	428	140	95	193
		柳生心眼流甲冑術・甲冑柔術伝承者養成	新田柳心館	406	140	50	216
		日本刀鍛錬技術伝承者養成	宮城 眞一	507	140	-	367
無形民俗文化財	国指定	秋保の田植踊保持	湯元田植踊保存会	596	30	60	506
		秋保の田植踊保持	長袋の田植踊保存会	168	30	60	78
		秋保の田植踊保持	馬場の田植踊保存会	238	30	60	148
		小迫の延年保持	小迫延年保存会	185	30	100	55
		米川の水かぶり保持	米川の水かぶり保存会	421	30	140	251
		羽田のお山がけ保持	羽田神社総代会	189	30	23	136
		雄勝法印神楽保持	雄勝法印神楽保存会	346	30	25	291
		月浜のえんずのわり保持	えんずのわり保存会	127	30	-	97
	県指定	大崎八幡宮の能神楽保持	大崎八幡宮能神楽保存会	956	30	116	810
		愛子の田植踊保持	愛子の田植踊保存会	130	30	60	40
		大倉の役人田植踊保持	大倉の役人田植踊保存会	164	30	60	74
		新川の田植踊保持	新川田植踊保存会	145	30	60	55
		芋沢の田植踊保持	芋沢の田植踊保存会	170	30	60	80
		下倉の田植踊保持	下倉の田植踊保存会	138	30	60	48
		川前鹿踊・川前剣舞保持	川前の鹿踊剣舞保存会	194	30	60	104
		福岡の鹿踊・剣舞保持	福岡の鹿踊剣舞保存会	121	30	60	31
		滝原の顕拝保持	滝原の顕拝保存会	169	30	60	79
		上谷刈の鹿踊・剣舞保持	上谷刈鹿踊剣舞保存会	142	30	60	52
		鹽竈神社 藻塩焼神事保持	志波彦神社・鹽竈神社	537	30	-	507
		熊野堂神楽保持	熊野堂神楽保存会	118	30	36	52
		道祖神神楽保持	道祖神神楽保存会	220	30	36	154
		熊野堂舞楽保持	熊野堂舞楽保存会	118	30	36	52
		富谷の田植踊保持	富谷田植踊保存会	223	30	47	146
		金津の七夕保持	金津七夕保存会	345	30	50	265
		青葉の田植踊保持	青葉の田植踊保存会	83	30	30	23
		米倉鹿嶋神社の猷饌行事	米倉鹿嶋神社氏子の会	159	30	-	129
		小野田の田植踊保持	小野田田植踊保存会	126	30	54	42
		中新田の虎舞保持	中新田火伏せの虎舞保存会	455	30	331	94
		薬菜神社三輪流神楽保持	薬菜神社三輪流神楽保存会	232	30	27	175
		柳沢の焼け八幡保持	柳沢若者講	137	30	18	89
		小泉の水祝儀保持	小泉契約講	79	30	19	30
		切込の裸カセドリ保持	切込誘和会	63	30	19	14
		駒形根神社の巡幸神事保持	お駒様御巡幸保存会	60	30	-	30
一迫町鹿踊保持	真坂鹿踊保存会	94	30	19	45		
一迫町鹿踊保持	清水目鹿踊保存会	269	30	19	220		
登米能保持	登米謡曲会	1,536	30	50	1,456		
日高見流浅部法印神楽保持	日高見流浅部法印神楽保存会	125	30	55	40		
無形民俗文化財	県指定	上町法印神楽保持	上町法印神楽保存会	347	30	50	267
		気仙沼市早稲谷の鹿踊保持	早稲谷鹿踊保存会	321	30	23	268
		新城の田植踊保持	新城の田植踊保存会	212	30	23	159
		廿一田植踊保持	廿一田植踊保存会	189	30	23	136
		入谷の祭りと打囃子保持	入谷の祭りと打囃子を伝承する会	109	30	-	79
		牡鹿法印神楽保持	牡鹿法印神楽古実会	157	30	18	109
		皿貝法印神楽保持	皿貝法印神楽保存会	121	30	25	66
		名振のおめつき保持	雄勝町名振秋葉神社氏子の会	746	30	25	691
		寺崎の法印神楽保持	寺崎の法印神楽保存会	548	30	30	488

区分	事業名	事業主体	事業費総額	内 訳		
				県費補助金	市町村補助金	所有者負担
無形民俗文化財 県指定	檜崎法印神楽保持	檜崎法印神楽保存会	222	30	30	162
	江島法印神楽保持	江島法印神楽会	208	30	140	38
有形文化財 2件、無形文化財 4件、無形民俗文化財 4 8件		計 5 4件	64,099	11,860	2,502	49,737

## 第2節 東北歴史博物館

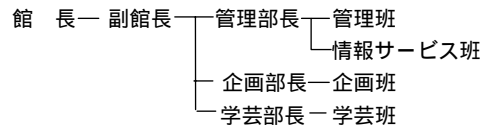
### 1 概要

東北歴史博物館は、宮城の地を拠点に東北全体の歴史及び文化を総合的にとらえ、その特色を世界に発信することを目的とした人文系博物館であり、誰もが気軽に学ぶことができる施設である。

企画展示、教育普及、調査研究及び歴史資料収集管理などの主要事業を積極的に進めた。

### 2 組織と予算

#### (1) 組織



#### (2) 予算

項目	金額(千円)
管理経費	388,603
企画展示費	36,687
教育普及費	1,325
調査研究費	3,901
資料管理費	1,569
合計	432,085

### 3 事業

#### (1) 企画展示事業

##### ア 常設展示

総合展示室において、約3万年前の後期旧石器時代から1965(昭和40)年頃までの東北地方全体の歴史及び文化について、庶民の視点を重視しながらそれぞれの時代を特色づけるテーマを取り上げた課題展示を行っている。重要文化財を含む実物資料約1400点の展示及び当時の様子を復元したジオラマ、イラストや地図・写真を使ったパネル、レーザーディスク等の映像装置、解説文パネルを適宜配置してわかりやすい展示を目指している。

テーマ展示室において、展示室1で「郷土玩具の世界」「杉山コレクション 埴輪」を、展示室2で「杉山コレクション 刀装具」「染めの型紙」を展示した。また、展示室3では「東北の古文書 - 新収蔵文書の紹介 -」をはじめ8回の展示替えを行なった。

##### イ 特別展示

- ・特別展「町絵図・村絵図の世界 絵図の時代・江戸時代」  
会期：平成19年4月21日～5月27日  
関連行事：講演会「17世紀の列島大改造と伊達騒動」  
講師 東北大学東北アジア研究センター 教授 平川 新氏  
期日 平成19年4月29日
- ・講座「地図と私たち」  
講師 国土交通省国土地理院 東北測量部長 山本国雄氏  
期日 平成19年5月13日
- ・現地バスツアー

訪問先 宮城県白石市(白石城・白石武家屋敷・市内城下町遺構)

期日 平成19年5月26日

観覧者：3,271人

・特別展「慈覚大師 円仁とその名宝」

会期：平成19年6月16日～7月29日

関連行事：実演 唄散華「四寺廻廊」

・出演 中尊寺・毛越寺・立石寺・瑞巖寺

期日 平成19年6月16日

・実演 延年の舞「唐拍子」「老女」

出演 毛越寺

期日 平成19年6月17日

・記念講演「慈覚大師 円仁と日本の仏教美術」

講師 東北大学名誉教授 東京芸術大学客員教授 有賀祥隆氏

期日 平成19年6月30日

観覧者：11,621人

・特別展「奥州一宮鹽竈神社」

会期：平成19年8月9日～9月24日

関連行事：講演会「中世の鹽竈神社」

講師 東北学院大学

名誉教授 大石直正氏

期日 平成19年9月8日

・雅楽演奏会 管絃・神楽・舞楽

演者 宮城野雅楽会、雅楽道友会

期日 平成19年8月21日

観覧者：5,619人

・特別展「ちょっと昔の暮らし」

会期：平成19年10月13日～12月2日

関連行事：農具体験、質問募集、小学校(3校)交流による加工体験、畑作体験

観覧者：4,142人

#### (2) 教育普及事業

##### ア こども歴史館の運営

利用者数 28,230人(小・中学校・高校の利用数 延べ292校)

##### イ 図書情報室の運営

利用者数 5,945人

##### ウ 今野家住宅の運営

利用者数 25,329人

##### エ 講座等の行事

行事名	回数	参加数(人)	備考
館長講座	20	3,076	テーマ「古代東北の官衙と寺院」
博物館講座	19	549	古文書、史料購読、ビデオ等
体験教室	8	430	縄文土器、勾玉、銅鏡等作り
展示解説	24	172	毎月第1・第3土曜日
多賀城跡巡り	14	109	毎月2回(4月～10月)
民話を聞く会	6	183	多賀城、利府民話の会と共催
体験イベント	2	2,802	春と秋 年2回開催
博物館開放講座	8	406	学芸職員の研究内容を発表

##### オ 広報と刊行物

『東北歴史博物館 平成18年度年報』

『東北歴史博物館研究紀要9』

『催事カレンダー(4月～6月, 7月～9月, 10月～12月, 1月～3月)』

### (3) 調査研究事業

東北地方の歴史・文化に関する考古資料・文書資料・民俗資料・美術工芸資料及び建造物資料について調査研究を行い、その成果を研究紀要・展示解説書等の刊行物を通じて公表した。

#### ア 考古資料の調査研究

寄贈された楠本コレクションの資料を対象として実施した。昨年度から始めた資料の整理・修復・実測を継続中である。

#### イ 民俗資料の調査研究

東北地方の信仰伝承の調査研究として、桃生郡域及び宮城郡域の調査を行った。宮城県内の民俗誌作成事業として、南三陸町戸倉波伝谷地区の総合調査を行い、報告書を刊行した。

#### ウ 文書資料の調査研究

昨年度以前に収集したもののうち、未整理文書・資料群の整理とともに県図書館移管文書の整理を行った。未整理文書・資料群の整理については、昨年度から開始した博物館準備室収集資料の本格的整理を継続し、「中村正彦家資料」などの整理を行った。

#### エ 美術工芸資料の調査研究

仏教文化及び美術研究として、岩手県一関市域及び同県九戸村等の信仰拠点を調査しデータを整備した。東北の近世絵画調査研究として、特に宮城・東北の名所を描いた絵画について調査研究を行った。

#### オ 建造物資料の調査研究

県内南三陸町に残る明治期の養蚕建築(住宅)の調査を昨年に引き続き行った。近代建築資料調査として、登米市寺池に残る建築物の調査を行った。特に、取り壊しとなった旧仙北鉄道登米駅駅舎の実測調査を調査を行い、詳細なデータを収集した。

### (4) 資料管理事業

#### ア 実物収集

当館では、考古・民俗・文書・美術工芸・建築・歴史の各資料分野にわたって、7万件を超える実物資料を収集している。平成19年度は、名取北方藤塚浜新開御塩場大略図2鋪と早川智寛旧蔵写真10枚を購入した。

寄贈資料としては、牡鹿郡長渡浜文書169点、篠田安司家資料1,305点等があった。

#### イ 写真資料

収蔵実物資料を撮影したもの等を中心とした写真資料についてフィルムやプリントの形態で約6万6千件を収蔵している。

#### ウ 図書資料

当館の所蔵している図書資料の総数は約95,000冊で、そのうち約8,000冊を図書情報室に開架式で配架し、来館者が自由に閲覧できるようにしている。また、所蔵図書資料の目録は、当館ホームページで公開している。

#### エ 資料の貸出、閲覧、撮影、借用等

実物資料については、展示や資料の調査等を目的に424点の館外貸出を行った。また、写真資料の貸出(掲載)・再掲載が70件あった。

#### オ 資料管理

昨年度に引き続き、石母田家文書のうち、特に破損の著しい31点について裏打ち等の修理を行った。

#### カ 科学的保存処理

県内の遺跡から出土した脆弱な資料について、「埋蔵文化財出土遺物の保存処理」として国庫補助を受け、名生館遺跡・中野高柳遺跡等から出土した木製品153点、一本柳遺跡等から出土した金属製品86点の保存処理を実施した。

#### キ 保存環境管理・調査

資料の保存処理及び収蔵庫・展示室の保存環境に関する調査・研究を行い、資料の保全に努めた。また、収蔵庫内の木質から発生する酸・アルカリなどの成分が資料に与える影響について継続的に調査を実施している。このほか、歴史資料の虫や黴の被害対策として実態を調査し、燻蒸消毒を行った。

### (参考資料)

平成19年度東北歴史博物館入館者数

月区分	開館日数	入館者数(人)
4月	26	6,329
5月	27	11,727
6月	26	16,190
7月	25	12,404
8月	27	8,174
9月	27	9,180
10月	27	8,275
11月	26	4,699
12月	25	3,032
1月	24	2,322
2月	17	2,349
3月	26	3,615
計	303	88,296



### 第3節 宮城県多賀城跡調査研究所

多賀城跡は奈良・平安時代に陸奥国の国府が置かれ、奈良時代には鎮守府も併置されていた役所の跡である。規模は約900m四方で、多賀城市市川のほぼ全域と浮島の一部に及んでいる。また、多賀城跡の南東約1.2kmの多賀城市高崎には多賀城の付属寺院である多賀城廃寺跡がある。これらは大正11年に史跡に指定され、さらに昭和41年には特別史跡に昇格指定された。昭和30年代後半からの急激な諸開発の波は多賀城跡の周辺にも及び、平城宮跡や大宰府跡と並んで国の三大史跡とされるほどの重要な文化遺産である多賀城跡も破壊されてしまう恐れが生じてきた。そこで、宮城県教育委員会は昭和44年4月に宮城県多賀城跡調査研究所を設置し、多賀城跡の解明と保存を目的とする発掘調査、およびその成果に基づく環境整備とを計画的に実施することにした。

#### 1 事業内容と目的

当研究所の事業内容と目的は以下のとおりである。

##### (1) 多賀城跡発掘調査事業

特別史跡多賀城跡附寺跡の発掘調査を実施し、古代の多賀城の実態を解明し、あわせて環境整備のための資料を得る。

##### (2) 多賀城跡環境整備事業

発掘調査の成果をもとに多賀城跡附寺跡の遺構について、保存措置を講じるとともに、復元表示などの環境整備を行い、歴史公園として一般に公開する。

##### (3) 多賀城関連遺跡発掘調査事業

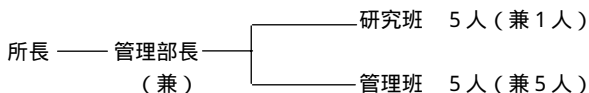
古代の多賀城に関連する県内の遺跡の発掘調査を実施して、多賀城を中心に展開された東北の古代史を多角的に解明する。

##### (4) 遺構調査研究事業

古代の城柵官衙遺跡についての資料を全国的な視野で収集し、調査研究する。

#### 2 組織・予算

##### (1) 組織



なお、当研究所では第8 - 9表の学識経験者からなる多賀城跡調査研究委員会を組織し、その指導・助言を得ながら各事業の推進を図っている。

第8 - 9表 多賀城跡調査研究委員会委員名簿

氏名	職	専門分野
委員長 須藤 隆	東北大学大学院教授	考古学
副委員長 今泉 隆雄	東北大学大学院教授	古代史学
委員 飯淵 康一	東北大学大学院教授	建築史学
" 鈴木 三男	東北大学教授	植物学
" 佐藤 信	東京大学大学院教授	古代史学
" 田辺 征夫	独立行政法人文化財研究所理事 奈良文化財研究所長	考古学
" 近 江 隆	東北大学名誉教授	都市工学
" 平川 南	大学共同利用機関法人人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館長	古代史学
" 進士五十八	東京農業大学教授	造園学

##### (2) 予算

ア 多賀城跡発掘調査事業費	14,168千円
イ 多賀城跡環境整備事業費	9,462千円
ウ 多賀城関連遺跡発掘調査事業費	3,520千円
(以上、50%国庫補助事業)	
エ 遺構調査研究費	140千円
オ 管理費	364千円

#### 3 平成19年度事業の概要

##### (1) 多賀城跡発掘調査事業

平成19年度は多賀城跡発掘調査第8次5カ年計画の4年度にあたり、城前地区において第79次調査を実施した。発掘調査面積は合計1,375㎡、調査期間は平成19年5月23日～平成19年11月30日である。総事業費は14,168千円(50%国庫補助)である。

##### ア 第79次調査の目的

第79次調査は今後行われる環境整備事業に先立ち、過去の調査結果を補強、再検討することを主目的に多賀城政庁跡南方の城前地区と鴻ノ池地区を対象に実施した。

##### イ 第79次調査の成果

城前地区西側の調査では、政庁 - 外郭南門間道路跡に伴う地層が検出され、さらに第 期 の幅 13m の道路跡西端に土留めのための石垣が積み上げられていることが明らかになった。これにより、政庁 - 外郭南門間道路は造成当初から政庁中軸線を基準として造られた直線道路であることが判明した。

城前地区北東側の調査では、官衙施設に3時期の変遷があることが明らかになり、丘陵南西隅の複雑な建物跡の変遷も明確になった。

鴻ノ池地区の調査では、11世紀頃以降の溝4条を確認した。

##### ウ 第79次調査の意義

第79次調査では、道路幅が確定したことや石垣を発見したことにより、多賀城跡正面の政庁 - 外郭南門間道路跡の復元整備を進める上で欠かせない成果を得ることができた。これらの成果は、多賀城跡環境整備事業第9次5カ年計画で予定している政庁と外郭南門を結ぶ城内道路跡の整備計画に盛り込まれることになる。

##### (2) 多賀城跡環境整備事業

平成19年度は第8次5カ年計画の3年度にあたり、昨年度に続き、外郭北辺北東隅(多賀城市市川字大久保地内)の再整備を実施した。総事業費は9,462千円(国庫補助50%)である。

##### 施設撤去工

腐朽により歩行が困難になった木道(平成3年度設置)の撤去を行った。

##### 園路広場工

木道の代替設備として築地の高まりを望める位置に広場を設置、枕木舗装を施す。また、築地を跨ぐオーバードッキの再整備を行った。

##### 施設整備工

便益施設としてベンチの設置を行った。

##### 自然育成工

築地廻りの枯木の伐採と下草刈りを行った。

(3) 多賀城関連遺跡発掘調査事業

平成 19 年度は第 7 次 5 カ年計画の 4 年度にあたり、大崎市に所在する六月坂遺跡の調査と、色麻町に所在する日の出山窯跡群の予備調査を実施した。発掘調査面積は六月坂遺跡が約 1000 m<sup>2</sup>、日の出山窯跡群が約 200 m<sup>2</sup>である。調査はそれぞれ大崎市教育委員会、色麻町教育委員会と共催で行っている。総事業費は 3,520 千円 (50%国庫補助)である。調査の内容は次のとおりである

ア 調査の成果

六月坂遺跡は、昨年度まで継続調査を実施した国指定史跡の木戸窯跡群に隣接する遺跡である。今年度は、窯跡分布範囲が拡大する可能性があるため調査を実施したが、調査の結果、地下式竈窯跡と推定した窪みが横穴墓であることが判明した。発見した横穴墓は 9 基で、このうち 4 基を精査した。

色麻町日の出山窯跡群については、第 7 次 5 カ年計画で平成 20 年度以降の調査対象地として立案しており、今年度は、データを事前に収集する目的で試掘を実施したが、調査対象地内では、窯跡は確認されなかった。

イ 調査の意義

六月坂遺跡では、横穴墓の入口部から木戸窯跡群の製品とみられる須恵器が出土し、窯跡と横穴墓の関連を伺える良好な資料を得ることができた。日の出山窯跡群の調査では次年度調査予定地の絞り込みを行うデータを得ることができた。

(4) 遺構調査研究事業

本事業は多賀城跡及び関連遺跡の発掘調査によって検出した諸遺構の保存と活用を目的として、他遺跡の類例と比較検討しながら基礎的研究を行うものである。

本年度は、仙台市陸奥国分寺跡、同与兵衛沼窯跡群、大崎市新田柵跡推定地、色麻町日の出山窯跡群、加美町壇の越遺跡、栗原市伊治城跡の調査データを収集した。さらに従来収集した各地のデータを整理し比較と検討を行った。

(5) 特別史跡多賀城跡附寺跡の現状変更申請への対応

当研究所では、特別史跡内の遺構と歴史的景観の保護に努めている。しかし、やむなく特別史跡内の現状を変更するにあたっては、申請者及び関係機関と遺跡保護のために慎重な協議を行い、遺跡への影響がない範囲で最小限の現状変更に伴う調査を行っている。平成 19 年度における現状変更申請は 13 件あった。内訳は以下のとおりである。

間工事 8 件 - 宅地内舗装・擁壁設置等工事 ( 5 )

下水道接続工事 ( 3 )

公共事業 5 件 - 上下水道整備関連工事 ( 4 )

公園整備関連工事 ( 1 )

このうちの 4 件については掘削を伴う工事であるため、確認調査を実施した。他の 9 件については史跡への影響は軽微であると判断されたため、工事立ち会いとした。

(6) その他

ア 現地説明会の開催

発掘調査の成果を一般の方々に公開するために、下記の現地説明会を開催した。

六月坂遺跡発掘調査現地説明会

平成 19 年 7 月 7 日 天野順陽

多賀城跡第 79 次調査

平成 19 年 10 月 20 日 小井川和夫・阿部恵

古川一明・吉野 武

イ 各委員会などへの協力

小井川和夫 秋田市秋田城跡環境整備指導委員 払田柵跡

保存管理計画策定指導委員 多賀城市環境審議

委員 角田市角田郡山遺跡発掘調査指導委員

古代城柵官衙遺跡検討会代表世話人

吉野 武 青森県史編纂古代部会調査研究員

ウ 発掘調査・講演会などへの協力

吉野 武

「多賀城跡第 78 次調査の概要」多賀城市遺跡調査成果講演会

多賀城市文化センター 平成 19 年 6 月 30 日

古川一明

「7 世紀の宮城県地域研究の新視点」福島大学

考古学研究室公開シンポジウム 平成 19 年 11 月 11 日

エ 研究発表・執筆など

天野順陽

「六月坂遺跡」平成 19 年度宮城県遺跡調査成果発表会

仙台市博物館 平成 19 年 12 月 15 日

吉野 武

「多賀城跡第 79 次調査の概要」平成 19 年度宮城県遺跡調査

成果発表会 仙台市博物館 平成 19 年 12 月 15 日

天野順陽

「六月坂遺跡調査の概要」第 34 回古代城柵官衙遺跡検討会

東北福祉大学 平成 20 年 2 月 16 日

吉野 武

「多賀城跡第 79 次調査の概要」第 34 回古代城柵官衙遺跡検討会

東北福祉大学 平成 20 年 2 月 16 日

古川一明

「多賀城創建期について」第 34 回古代城柵官衙遺跡検討会

東北福祉大学 平成 20 年 2 月 17 日

オ 連携大学院

東北大学大学院文学研究科長と宮城県多賀城跡調査研究所長の協定に基づき、文学研究科文化財科学専攻の大学院生の研究と指導にあたった。

小井川和夫 ( 客員教授 )

・文化財科学研究演習 「史跡の保存整備と活用 ( 1 )」

・文化財科学研究演習 「史跡の保存整備と活用 ( 2 )」

古川一明 ( 客員准教授 )

・文化財科学研究実習 「古代遺跡調査の方法と実践」

カ 研究成果刊行物

『宮城県多賀城跡調査研究所年報 2007

-多賀城跡第 79 次調査-

平成 20 年 3 月

『六月坂遺跡ほか』多賀城関連遺跡発掘調査報告書第 33 冊

平成 20 年 3 月